

2016年度 後期				リフレクションペーパー			
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	アートと生活						
科目区分	専門	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	橋富博喜						
授業の到達目標 (シラバスから)	・その絵画を構成する要素について、その意味を理解し説明できる。 ・それぞれの絵画作品が制作された時代の文化的、社会的状況を説明できる。 ・著名な絵画作品について、作者、制作年、特徴、影響関係を説明できる。 ・それぞれの時代の芸術的思潮を説明できる。						
日程と内容	第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回：目的のある絵画 第3回：描かれた物語 第4回：隠された意味 第5回：色彩について 第6回：遠近法 第7回：日常を描く 第8回：光のちから 第9回：人のかたち―肖像画と自画像 第10回：静物画 第11回：風景画 第12回：構図 第13回：写真と美術 第14回：絵を仕上げる 第15回：たたかう絵画 定期試験						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	40%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	美術作品のうち絵画について、あらためて関心をむけそれを理解しようとする学生がいたことはたしかである。しかしその学生が少数であることも否定できない。						
反省点	わかりやすく話してきたつもりではあるが、やはり「難しい」と考える学生もいた。目で見える視覚資料(作品写真)をもう少したくさん使用してわかりやすく話していきたい。						
来年度の計画	今年度の反省点を踏まえ、写真資料の多様によって、視覚的に理解させるようにしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	理解してくれる学生と、そうではない学生の差が大きいに感じる。この差をもう少し「わかりやすく」ということを念頭にかけ、講義していきたい。						
履修登録者数	29 名	定期試験 受験者数	28 名	合格者数	25 名	合格率	89%